

秋経協・二水会

第78回（9月）例会：企業視察

(株)岩手ヤクルト工場・(株)東北佐竹製作所

日時 平成28年9月16日(金)参加者18名

秋経協・二水会の恒例行事となった「企業視察」が去る9月16日（金）秋経協会員も含め18名が参加して実施された。

今年度は岩手県北上市にある、世界最新鋭の設備を整えた(株)岩手ヤクルト工場と、穀物調製機械のトップメーカーである「(株)サタケ」の生産拠点として設立された(株)東北佐竹製作所の2施設を訪問した。

(株)岩手ヤクルト工場



(株)東北佐竹製作所



岩手ヤクルト工場の見学様子



岩手ヤクルト工場は、東日本の基幹工場として平成19年に先進の設備・施設を整えた世界最新鋭の工場として完成した。徹底した検査・管理体制により、製品は北海道から関東エリアまで東日本全域をカバー、5種類のヤクルトを1日220万本出荷している。

容器外観検査装置、液中底異物検査装置、金属検査機など各種の検査機器が随所に配置され、また、品質管理室では、製品が安全でおいしくできているか、人と検査機器によりチェックしている。オートメーション化された清潔で安全な工場内で、食品として徹底した品質管理体制の中で製造されている。



東北佐竹製作所の見学様子



東北佐竹製作所は、79.800 m²に敷地に、5棟の建屋（延床面積 39.200 m²）があり、乾燥機、
粉摺機、光選別機、選別計量機の主要4機種のほか、穀類調製プラント向けの大型乾燥機な
どを生産している。製造工程は、板金・塗装・組立を「一台セット流し生産」で行い、レー
ザー加工、プレス加工など板金以前の工程を最小ロットサイズにし、在庫を最小限に抑える
効率的な生産システムを導入している。

